

令和4年8月10日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

新潟県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
南魚沼市立三用小学校（外15校）	南魚沼市教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
南魚沼市立三用小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510005
南魚沼市立赤石小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510006
南魚沼市立浦佐小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510007
南魚沼市立大崎小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510008
南魚沼市立後山小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510009
南魚沼市立藪神小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510010
南魚沼市立城内小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510011
南魚沼市立おおまき小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510028
南魚沼市立五十沢小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510014
南魚沼市立北辰小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510015
南魚沼市立六日町小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510016
南魚沼市立上田小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510050
南魚沼市立栃窪小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510019
南魚沼市立塩沢小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510020
南魚沼市立中之島小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510021
南魚沼市立石打小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510022
南魚沼市立上関小学校	http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510023

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

上記各校のホームページから国際科授業の様子や評価についてご覧ください。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ⊙計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

地域在住の、日本語で打合せが可能なALTを市で直接雇用することで継続的な実施体制の充実を図ること、市内にある高等教育機関在籍の留学生の学校訪問を行いことにより、特別の教育課程を円滑かつ有効に実施することができている。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ⊙実施している
- ・実施していない

<特記事項>

特別の教育課程による授業の様子を、ホームページや学校だよりに掲載し、児童家庭への配布、ならびに回覧板等により地域住民への情報提供を実施している。

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

本特例は、市内全域において市の目指す子ども像の実現のために育てたい姿のうち、「人や自然を慈しみ、生命を大切に子ども」として、命の尊さや繋がりが感じ取れる活動を推進、また特例事業の授業をとおして、自分の良さに気付き、周囲の人とより良い関係を築く協働で取り組む活動を推進している。

近年、外国籍児童が増えている地域では、生活習慣や文化の違いによる難しさを訴える声もあがっている。「国際科」の設置と実施による、国際理解やコミュニケーション力の向上は、今後の地域における共生社会の実現により成果があがるものと期待している。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例「国際科」の2本柱、「国際理解教育」と「英語教育」のコミュニケーション能力の向上や、他者理解を重視したねらいにより、児童の多くが授業や学習に対して肯定的であり、中学入学時における生徒の英語に対する期待感やコミュニケーションを図ろうとする態度は育成されたものの、文部科学省が発表した「英語教育の在り方に関する有識者会議審議報告（H26.9.26）」の中で、小学校の外国語活動で音声中心に学んだことが、中学校での段階で音声から文字への学習に円滑に接続されていない、発音と綴りの関係の学習や文構造の学習に課題がある、との指摘があった。当市においても当時この傾向が

見られたため、本特例の指導の中で、フォニックス指導を開始し、同時に新潟大学教育学部の協力のもと継続的に効果調査を実施している。

その結果、用いられているフォニックスの指導プログラムは、¹日本語を母語とする中学生への効果的な英語学習法であり、特に「英語の困り感」を持っている生徒を含む全員に得点の上昇がみられる有益な指導法である。また小学校においては²フォニックス指導を行うことが、英語のみならず日本語への音韻認識・操作能力の向上に影響を与え、場合によっては、一部の能力が転移されたと推測できた。一方で、フォニックス指導により英語の文字と綴りに関する理解に対し一定の底上げはできたものの、これらの手立てを講じても困り感が継続する児童生徒、日本語では困難を示さないが、フォニックス指導を受けた後も英語の読みの習得では困難を示す可能性があることが示唆された。

5. 課題の改善のための取組の方向性

3に示した課題を踏まえ、英語習得初期段階でより丁寧な一律指導による基礎固めを行うことで児童生徒が抱える躓きや困難の軽減が図れるよう、小学校におけるフォニックスの指導が小中学校での外国語や国語の学力向上に繋がっていくのか、将来の英語学習に影響を与えていくのかについて、引き続き調査を行う必要があると考え実施している。

¹ 入山満恵子・加藤茂夫・渡辺さくら・山下桂世子（2019）「日本語を母語とする中学生への効果的な英語学習法の検討ー統合的フォニックスの活用ー」『LD 研究』28, 262-272

² 加藤茂夫・入山満恵子・山下桂世子・渡辺さくら（2020）「ジョリーフォニックス指導効果検証の試みー新潟県南魚沼市の取組みからー」『JES Journal Vol 20』小学校英語教育学会 272-287